

第1回 資源物中間処理施設 運営連絡会

小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設について

平成30年12月15日 午前10時

小平・村山・大和衛生組合

本日の説明内容

- I 小平・村山・大和衛生組合とは
- II 資源物中間処理施設とは
- III 建設工事の進捗状況
- IV 施設運営の基本的考え方
- V 今後の予定

I 小平・村山・大和衛生組合とは



I 衛生組合の自己紹介 1／4

沿革

昭和35年

小平町(現小平市)が現在の用地(小平市中島町)にごみ焼却場を建設。(人口4万6千人、最初の焼却炉:19トン／日:固定炉(廃止))

昭和40年2月1日

3市町(小平市、村山町、大和町)による一部事務組合設立、共同処理事業に移行。

小平市施設を引き継ぎ処理。



衛生組合は、3市のごみ処理施設の設置及び運営等を行っている特別地方公共団体

I 衛生組合の自己紹介 2/4

組織市の人口と面積

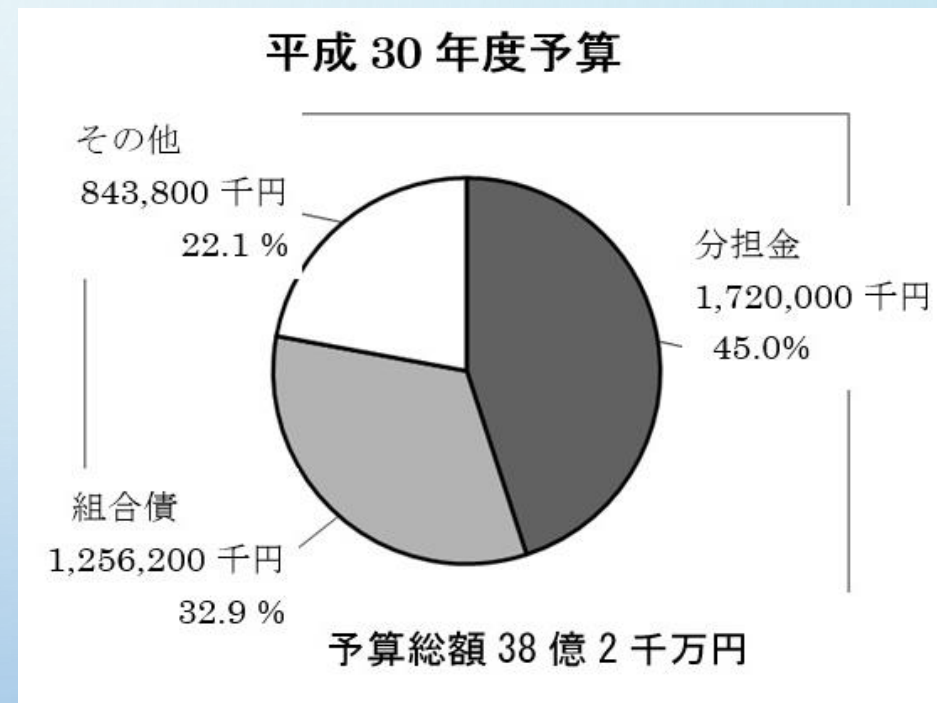
組織(構成) 市	人 口	面 積
小 平 市	191,064人	20.46km ²
東 大 和 市	85,698人	13.54km ²
武蔵村山市	72,510人	15.37km ²
合計	349,272人	49.37km ²



I 衛生組合の自己紹介 3／4

ごみ搬入量と分担金

組織市	ごみ搬入量	投入比率	分担金
小平市	38,585トン	55.54%	9億1千910万5千円
東大和市	15,393トン	22.16%	3億9千882万2千円
武蔵村山市	15,494トン	22.30%	4億207万3千円
合計	69,472トン	100%	17億2千万円



ごみ搬入実績及び投入比率は平成29年度実績。
分担金は平成30年度予算額(平成28年度実績に基づき算出)。

I 衛生組合の自己紹介 4／4

組合の組織

組合議会議員 : 組織市の市議会議員から各4名ずつ選出(12名)

理事者 管理者:小平市長
副管理者:東大和市長
武蔵村山市長
助 役:小平市副市長

監査委員 識見者(2人) 組合議員(1人)
会計管理者(小平市会計管理者)

事務局 事務局長(1人)
総務課(5人) 業務課(6人) 計画課(9人) 計21人

※ 運営連絡会など、地域との窓口は、計画課が担当しています。



Ⅱ 資源物中間処理施設とは 1 / 4

施設概要

■事業者	小平・村山・大和衛生組合		
■設計・施工	メタウォーター株式会社		
■工事名称	(仮称)3市共同資源物処理施設整備工事		
■工事場所	東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2		
■最高の高さ	21.87 M		
■施設規模	その他プラスチック製容器包装系列	17.0 T/日(5H)	
	ペットボトル系列	6.0 T/日(5H)	
■構造	鉄骨造		
■建物	地上3階建て		

Ⅱ 資源物中間処理施設とは 2／4

整備方針

○「安全、安心かつ安定的に処理が可能な施設」

- ・最新のごみ処理技術を導入し、事故や故障が少なく、維持管理が容易で長期間の耐用性に優れた設備としています。
- ・運転監視と日常点検につとめ、計画的かつ効率的な維持、補修により、予防保全を強化しながら、高い安定性及び信頼性を有する施設とします。

○「充実した環境保全対策により、周辺環境に影響を与えない施設」

- ・振動・騒音、臭気・揮発性有機化合物(VOC)対策の充実を図り、周辺環境に影響を与えない施設としています。
- ・信頼性の高い公害対策設備の導入や、適切な運転管理の継続により、環境保全に取り組む施設としています。

○「景観等に配慮した地域との調和の図れる施設」

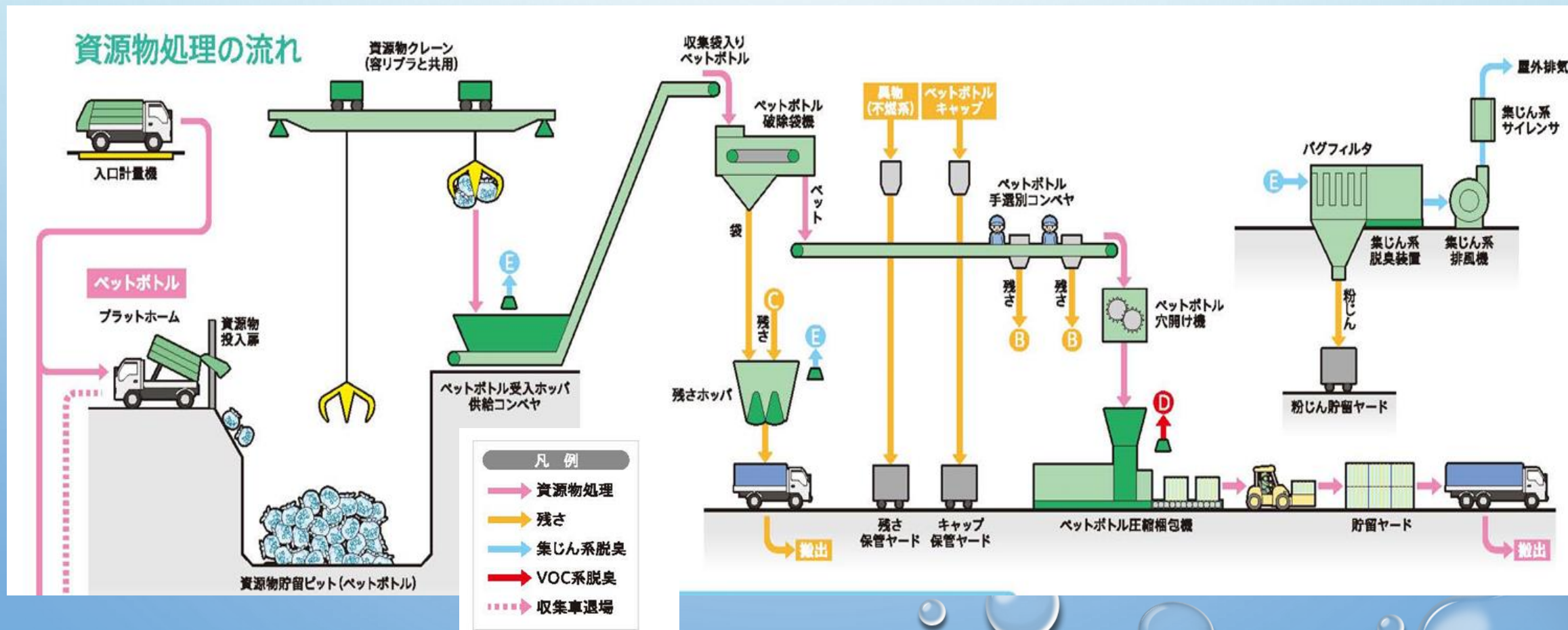
- ・施設内の緑化や、建物のデザインに配慮することにより、周辺環境と調和した清潔な施設としています。

○「経済性に優れた施設」

- ・廃棄物の減量とリサイクルを前提とした適切な処理方式とするとともに、省エネルギー機器を採用し効率的な運転に努めることで、経済性に優れた施設としています。

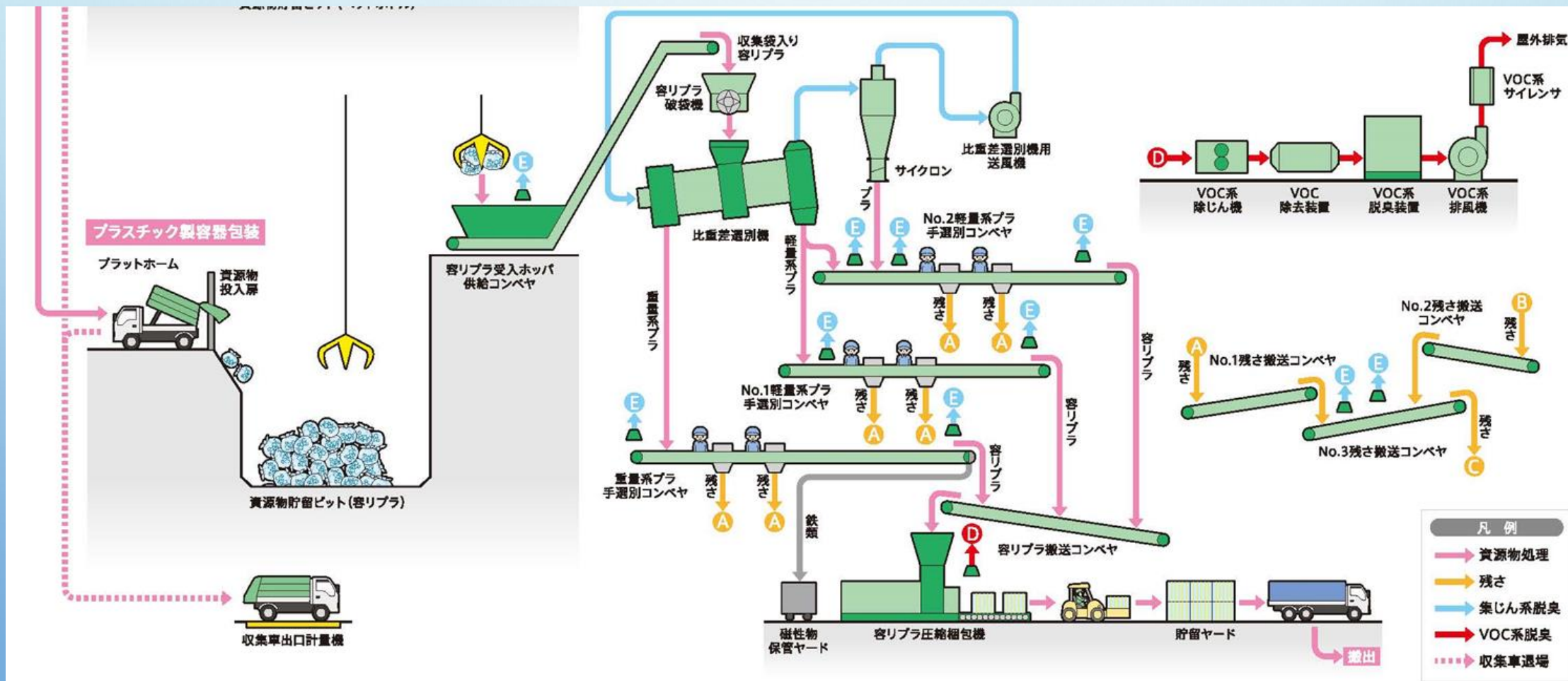
Ⅱ 資源物中間処理施設とは 3／4

ペットボトルの処理



Ⅱ 資源物中間処理施設とは 4／4

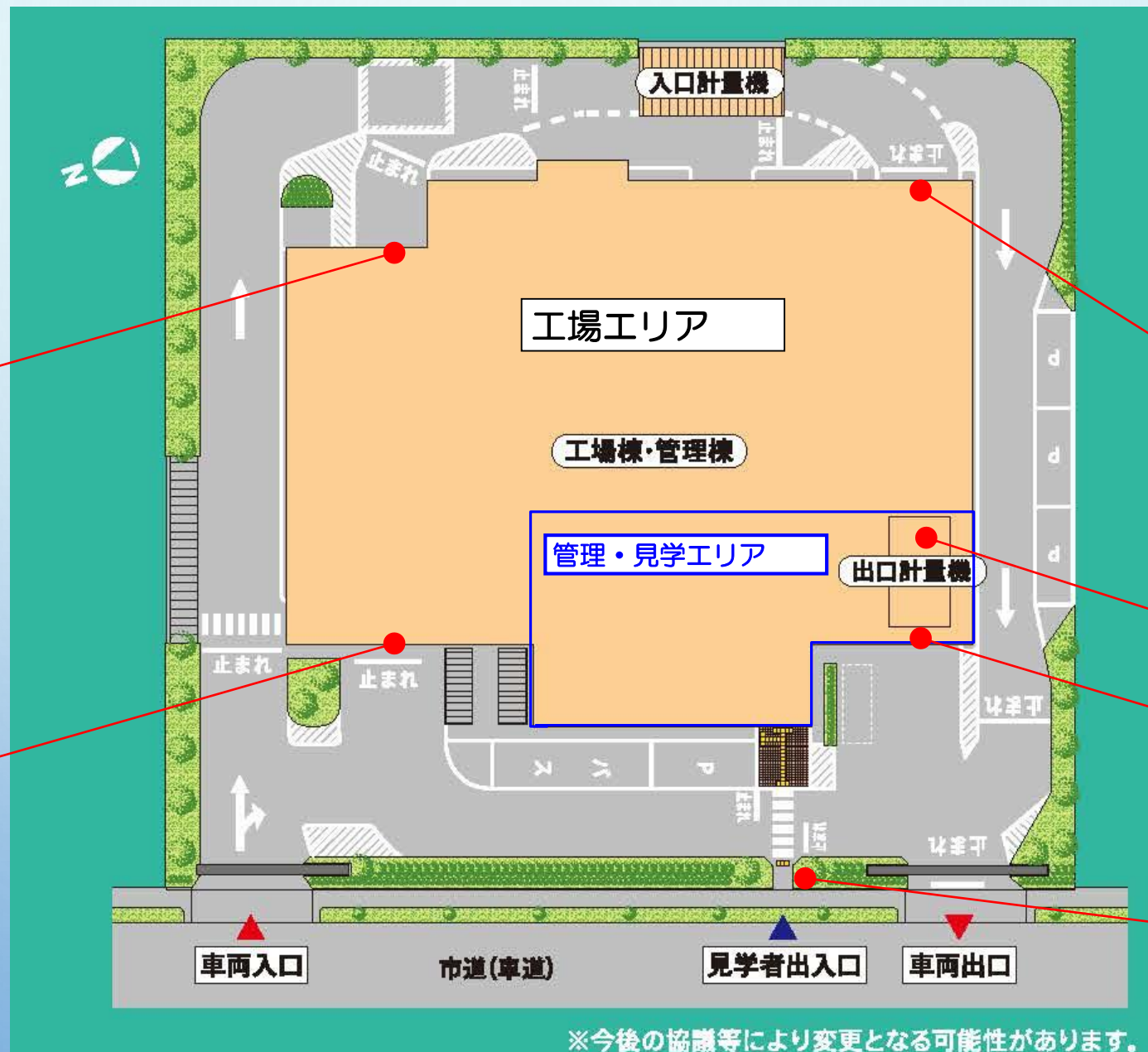
プラスチック製容器包装の処理



施設配置図

搬出室出口

搬出室入口



工場棟・管理棟内配置

1 階エリア

管理・見学エリア

作業員玄関

ホール

ペットボトル
ピット

容リプラ
ピット

プラット
ホーム

事務室

来場者玄関

収集車
出口計量機

2階エリア

管理・見学エリア

VOC除去装置

収容人数100人
クラスの研修室

窓越しで
資源物ピットの
状況が見られ
ます。

窓越しで
プラットホーム
の状況が見られ
ます。

展示ホール

3階エリア

管理・見学エリア

活性炭
脱臭装置

休憩室

窓越しで
手選別の状況が
見られます

窓越しで
資源物の投入の
状況が見られま
す。

展示ホール

IV 施設運営の基本的考え方

施設の操業

操業日 年末年始及び土曜日・日曜日を除く日

操業時間 午前8時30分から午後5時 ※繁忙期等は午後8時まで延長する場合があります。

VOC対策

VOC(揮発性有機化合物)については、活性炭吸着及び光触媒で除去します。

騒音対策

騒音発生機器を各居室に収めており、機器を設置する居室は吸音材等を使用しています。

振動対策

振動を発する機器を設置する箇所を独立基礎等にしており、施設基礎部に振動の伝播がしづらい構造としています。

悪臭対策

脱臭設備として活性炭吸着塔により、臭気捕集を行い、施設外への拡散を防止する。

プラットフォーム出入口扉に設置しているエアーカーテンにより、臭気の漏えいを防止します。

廃棄物運搬車両に係る対策

大気質対策

- ・法定速度の厳守、空ぶかしの防止等を徹底させます。

車両の分散化

- ・運搬車両の集中を避けるため、計画的な搬入を検討します。

通学児童等への安全対策

- ・搬入時間を午前8時30分からとします。
- ・運搬車両は、法定速度の厳守など交通安全対策を徹底させます。

その他の対策

- ・敷地内に十分な待機スペースを確保し、公道待機の発生を防止します。
- ・車両出入口に回転灯を設け歩行者及び通行車両に注意喚起する等、施設設置に伴う周辺交通環境に与える影響をより軽微なものとする対策を講じます。

Ⅲ 建設工事の進捗状況

建設工事は、平成29年12月18日に仮設・解体工事に着手し、平成31年3月のしゅん工に向けて工事を進めています。



工事着手前平成29年5月2日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況



解体完了 平成30年2月7日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

土工事：地中構造物を施工するため、掘削作業と山留工事にて建込んだH鋼に木製矢板を設置する作業（ピット部は約8M、躯体全域は約2M掘削）



土工事 平成30年4月12日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

土工事 掘削の状況

※ブルーシートは掘削残置部分の雨水による崩壊防止のための養生



土工事 平成30年 5月10日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

コンクリート工事 コンクリートの打設作業が行っています。



平成30年 7月18日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

鉄骨工事 鉄骨の建方を開始しました。



平成30年 8月23日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

機械工事 容リプラ圧縮梱包機の部品を据付しています。

据付は天井開口部から、クレーンで吊り下げて行いました。

※容リプラ:シャンプーや弁当の容器、せんべいやお菓子の包装でプラスチック製のもの。



平成30年10月4日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

鉄骨工事 主要部分の施工が完了しました。



平成30年10月11日撮影

Ⅲ 建設工事の進捗状況

プラント機械工事 集じん系脱臭装置の設置しています。



平成30年11月24日撮影

Ⅲ

建設工事の進捗状況

建築工事 北側エレベーター廻りの外壁(ALC)の建込を行っています。



平成30年12月1日撮影

V 今後の予定

- 1 試運転開始 平成31年 2月下旬
※資源物の受入は4月1日から
- 2 第2回運営連絡会 平成31年 3月23日(土)
※会場:資源物中間処理施設 2階「研修室」
- 3 開所式 平成31年 3月31日(日)
- 4 資源物の受入・稼働開始 平成31年 4月 1日(月)

以上で説明を終わります。



ご清聴ありがとうございました